



2014年7月31日

## スバル BRZ が米国 IIHS の 2014 年安全評価で「トップセイフティピック(TSP)」を受賞 ～ IIHS による 2014 年安全評価において、スバルとして 7 車種目の受賞 ～

このたび、北米地区で現在販売しているスバルの 2014 年型 SUBARU BRZ\*<sup>1</sup> が、IIHS\*<sup>2</sup>(道路安全保険協会)が行う最新の 2014 年の安全性評価において、「トップセイフティピック」を受賞しました。今回の受賞により、IIHS の 2014 年安全評価において、スバルとして 7 車種が受賞したことになります。SUBARU BRZ に加えて、インプレッサ\*<sup>3</sup>、SUBARU XV クロスレック\*<sup>4</sup>、WRX\*<sup>5</sup> が「トップセイフティピック」を、レガシィ\*<sup>6</sup>、アウトバック\*<sup>6</sup>、フォレスター\*<sup>7</sup> が既に「トップセイフティピック+」を獲得しています。

SUBARU BRZ は、「Pure Handling Delight - 新しい次元の運転する楽しさ」をコンセプトに、誰もがクルマを操る楽しさと喜びを体感できる、水平対向エンジン FR レイアウトのスポーツカーとして世界各国で高い評価を受けています。

「トップセイフティピック」を受賞するには前・側・後面衝突、そしてロールオーバー(車両転覆)時の安全評価すべてにおいて最良の乗客保護性能を持ち合わせたクルマとして、最高の「Good」を獲得するとともに、2012 年に導入されたスモールオーバーラップ試験においても「Good」または「Acceptable」を獲得する必要があります。スモールオーバーラップ試験は、車両の前面コーナー同士の衝突や、車両の前面コーナーと電柱等、前方にある物体との衝突を想定した非常に厳しい衝突試験です。この試験では、車両前面の運転席側 25%に渡る範囲を高さ 5 フィート(約 1.5 メートル)の衝突試験用バリヤに時速 40 マイル(約 64 キロメートル)で衝突させます。

富士重工業は、ブランドステートメントである“Confidence in Motion”を通じて、スバルならではの「安心と楽しさ」の提案を掲げています。この「安心と楽しさ」を支える重要な要素である「安全」を、ALL-AROUND SAFETY の考え方の基に、アクティブセイフティ、パッシブセイフティ、プリクラッシュセイフティの各技術進化により実現していきます。

\*1 2013 年 12 月以降生産モデル

\*2 Insurance Institute for Highway Safety: 米国保険業界の非営利団体

\*3 2014 年型

\*4 日本名: SUBARU XV、2014 年型

\*5 2015 年型

\*6 2014 年型の EyeSight 装着車

\*7 2014 年型、2015 年型の EyeSight 装着車